

内閣官房国土強靱化室主催 事業継続シンポジウム

医療・福祉分野の事業継続

～ 災害に強い医療福祉体制を作る ～

熊本
会場

入場無料

災害医療の実践から得た教訓 平時からの備えによるレジリエンス強化

2017年12月4日(月) 13:00～16:00 (12:30受付開始)

水前寺共済会館 グレーシア(熊本県熊本市中央区水前寺1丁目33-18)

東日本大震災や熊本地震を経験して、「事業継続」の取組の必要性がクローズアップされています。「事業継続」は個々の事業者にとってはもちろん、社会全体にとっても、そのレジリエンスを高める上で非常に大きな役割を果たします。特に、医療・福祉施設等においては、災害時に期待される社会的役割ゆえに、地域連携を踏まえた「事業継続」への取組の重要性が高まっております。

そこで、内閣官房国土強靱化推進室では、医療・福祉施設等を対象としたシンポジウムを開催し、有識者による講演や登壇者によるディスカッションを通じて、「事業継続」の重要性、課題の共有を図るとともに、今後の普及促進に繋げていきたいと考えています。

※ 本シンポジウムは、全国6か所での開催を予定しています。

詳細は[<http://www.resilience-jp.org/certification/seminar/>]をご参照ください。

プログラム

開会の挨拶
[13:00-13:05]

内閣官房国土強靱化推進室

基調講演1
[13:05-13:40]

「過去の災害から学ぶ日本の災害医療と
医療・社会福祉施設が抱える課題」

富岡 譲二氏 (社会医療法人緑泉会 米盛病院 副院長)

基調講演2
[13:40-14:15]

「熊本地震における基幹災害拠点病院のBCP」

奥本 克己氏 (熊本赤十字病院 第一救急科 部長)

基調講演3
[14:15-14:50]

「事業継続(診療・治療継続)のための様々な準備について(仮)」

佐藤 友子氏 (佐賀県医療センター好生館 救命救急センター 副センター長)

休憩 [14:50-15:05]

講演
[15:05-15:20]

「国土強靱化の取組と国土強靱化貢献団体の認証制度について」

内閣官房国土強靱化推進室

パネルディスカッション
[15:20-16:00]

「九州地域におけるレジリエンス強化」

<パネラー> 九州地域会場講演者

(進行:株式会社インターリスク総研 事業継続マネジメントグループ テクニカルアドバイザー 紙谷あゆ美)

お申込みはこちら>>[<https://fs223.formasp.jp/f654/form6/>]